

小学生の頃、掃除当番で黒板消しをバタバタ叩いてチョークの粉を落としたり記憶があります。あの粉は明らかに吸ったら体によくはないだろうと思ひ、校庭に置いて長い棒で叩けばいいのではなどと考えたこともありましたが、しかし、今は帆立の貝殻を原料とした「ダストレスチョーク」という製品が主流で、そのような心配はなくなつたようです。その国内シェア一位、3割以上のシェアを誇るとともに、「キットパス」というガラスにカラフルな絵を描くことができ、楽しい製品をヒットさせた「日本理化学工業株式会社」が川崎にあります。従業員81名のうち7割超の60名が知的障がいを持っており、その内の27名が重度の障害を抱えているというのです。2008年に経済学者の坂本光司先生が出版した「日本でいちばん大切にしたい会社」で広く知られるようになり、テレビ東京の番組「カンブリア宮殿」でも取り上げられたようですが、先日、小松成美さん（横浜出身のノンフィクション作家）の新作「虹色のチョーク」の発売に際し、日本理化学工業の取り組みが紹介されました。心惹かれた私は5月27日・28日に所用で訪れた函館の往復の飛行機で早速その本を読み、いまだに感動を押しさえない思いです。

1937年の創設から80年もの長きに亘って操業してきた会社のように1987年「障害者の雇用の促進等に関する法律」が制定され、改正が重ねられた現在、50人以上雇用している会社は2%以上、つまり50人いたら1人以上の障がい者の雇用が義務付けられました。日本理化学工業が初めて障がい者の雇用を行ったのは1960年のことでした。本社近くの養護学校の先生、生徒に社会体験をさせたいという要望を受け、当時15歳と17歳の少女の職業体験を引き受けたところ、彼女たちの真剣な姿を目にした社員より、「一緒に働きたい」という声が上がったのです。二人は卒業後、正式に採用されることになりました。大山会長の理念はこうです。「人は仕事をする事で、人の役に立ちます。褒められて必要とされるからこそ生きる喜びを感じることができ、職業を持って必要とされる喜びを知った彼らは更に懸命に働いてくれます。そんな彼らを見つめてきた私こそ、彼らから働く幸せ、人の役に立つ幸せを教えられたのです。導いてくれた彼らへの感謝こそ、私がこの会社を続けてきた原動力です」テレビである従業員の特技を紹介していました。年月日を言うの間髪を入れずその曜日を答えてくれるのです。例えば、西暦2505年の5月20日は？と聞くと、一瞬考えたのち水曜日と答えるのです。年月日から曜日を求める計算式はあるものの、その答えを暗算で即座に出せるものはありません。特技というより天才ですね。仕事も緻密な内容を任せられ見事にこなすそうです。また、生まれたとき言葉がなかなか出なかった男の子は、両親の心配をよそに健常者と同じコースを歩み、そこに入社し、チョーク部門で彼の右に出る者はいないというほど技術を極め、従業員の尊敬を集めているそうです。シルクセンターの清掃会社にも障がいを持つ方がいますが、勤勉で礼儀正しく、掃除中に人が通るとさっと端に寄り人を通し「失礼しました」と言うので、私は二人の手柄が好きで、挨拶を交わします。社長に「いい人たちですね」と言うと、「よくやってくれますよ。先日勤続20年の表彰をして二人の労をね

松永団長が「エフエム戸塚」に出演

「エフエム戸塚」を検索。ホームページの表紙をUP。「あの番組をもう1度聴きたい」をクリック！番組の「シビックプライド・ダイアログ」を押す。皆さんぜひ聴いてください。



←ザ・よこはまパレード
こどもの日→
コンサート



今後のスケジュール

6/11 (日) 横浜みなとみらいホール 小ホール 第30期あかいくつ定期演奏会 赤い靴ジュニアコーラス全員 出演 ザ・シワクチャーズ横浜 元町ローゼス/横浜★男声合唱団
6/17 (土) 関内ホール 大ホール 中区ダンスフェスティバル2017 ①13時~ こどものグループ中心 ②18時~ 一般のグループ中心 入場料 各回600円
7/1 (土) 山下公園 詳細は後日 スパークリングトワイライト 赤い靴ジュニアコーラス全員 出演
7/2 (日) 神奈川県民ホール 大ホール ファンタスティックガラコンサート 2017 in summer 錦織 健 宮本益光 松尾葉子 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 シンフォニーヒルズ少年少女合唱団 赤い靴ジュニアコーラス ほか 学生2,000円 一般3,000~7,000円 事務局扱い10%引
7/29 (土)・30 (日) 関内ホール 小ホール 3回公演 横浜市民子どもミュージカル 「横浜三塔ねこ物語」 29日17時 30日11時・15時 一般1,800円 中学生以下1,200円
9/18 (月・祝) 横浜文化体育館 2017国際ジュニア体操競技大会 横浜市歌斉唱 保護者招待券あり 赤い靴ジュニアコーラス青隊・赤隊

2017・5・31 団長 松永春

「ざらいました」と話していました。故三笠宮寛仁親王殿下は、健常者と車いすの方とのダンスパーティーを開くなど、福祉には造詣の深い方でした。ある団体に頼まれてホテルニューグランドでの講演をセッティングしましたが、殿下は「昔は障がい者は地獄だった。誰も好んで障がい者になつた者はいない。これからは皆で積極的に、障がい者も健常者もない世界を作ろうよ」と結んでいました。「虹色のチョーク」のラストには「人と繋がりたいたい、人を思いやりたい、人に思われたい、人として生き証しを残したい。もしもそんな思いに駆られたら、日本理化学工業の2階の窓を眺めるがいい。そこには虹色の線に込められた希望がある、人を思う優しさがある、働くことで喜びを得る人々の命の煌めきがある」と記されています。私には「人生の中で燃えること、感動することが多いのは幸せなことである」という持論がありますが、正にその会社の中に幸せが見える思いです。

吉田新田350周年を記念し、YS350実行委員会が参加を決めた5月3日(水・祝)の「ザよこはまパレード」に市民ミュージカル出演者のうち40名と、その保護者の方が参加しました。山下公園から伊勢佐木町6丁目まで踊り歩いた出演者たちの顔には満足感が湛えられていました。イメージとは違うフロートにもかかわらず、素敵なパレードとなつたのは、皆さんの歌とダンスの賜物です。お疲れ様でした。5月5日(金・祝)には横浜みなとみらいホール大ホールでこどもの日コンサートが行われました。昨年はオーケストラを主体とした、例年とは一風変わった趣向のコンサートでしたが、やはり子供の日はこどもが主役でないと様にならないですね。今年から参加した青隊の3年生も緊張気味の様子でしたが、大勢の観客を前に燃えるような演奏でした。皆さんとてもよかったです。6月11日(日)は第30期あかいくつ定期演奏会、7月2日(日)は神奈川県民ホール大ホールでファンタスティックガラコンサートが開催されます。テノール歌手の錦織 健さん、ソプラノの市原 愛さんらが出演し、指揮に松尾葉子さん、司会にバリトンの宮本益光さんを迎え、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏が楽しめるコンサートです。そこに東京のシンフォニーヒルズ少年少女合唱団、赤い靴ジュニアコーラスが共演します。さらに7月15日(土)の横浜スパークリングトワイライト2017と続きます。